



わだつみ



久留米市立荘島小学校

校長 今津 弘樹

にち うんどうかい 28日は運動会！

いよいよ運動会が来週に迫ってきました！

子どもたちは運動会に向けて、かっこいい振り付けを考え応援の練習をしたり、かけっこの並び方やダンスの体形移動を確認したりと、毎日張り切って練習に取り組んでいます。子どもたちに

は運動会という行事を通して、自分なりに精一杯頑張ったという達成感や満足感を感じてほしいと願っています。だんだんと練習の疲れも溜まってくる時期かと思えます。疲れを感じているようでしたらいつもより早めに休ませる等して、体調をとの整えてさせてください。来週も運動会の成功に向けて頑張ります！



「学校環境緑化モデル事業」完成式典を実施しました。

5月6日、「学校環境緑化モデル事業」完成式典(参加者：県緑化推進委員会、(株)ローソン、学校より教職員・児童代表)が行われました。



この事業実施を希望する全国の学校の中から荘島小学校が選ばれ、トキワマンサク60本、ソメイヨシノサクラ2本を植えることができました。(北門側の道路沿いを中心に植樹しています。)トキワマンサクは常緑の中高木で、春の開花期には枝先に集まるように咲くため株全体が花に覆われるのだとか。子ども達の目を楽しませてくれることでしょう。

学校環境緑化モデル事業は、コンビニエンス・ストア(株)ローソンが、「学校の豊かな環境づくりを通じて、児童の皆さんの健やかな成長を願うとともに、自然と触れ合うことによって児童の皆さんに自然を愛しお気持ちを育ててほしい」との考えから、公益社団法人国土緑化推進機構を通じて、実現したものです。

式典の中で、環境委員会の小田遥翔さんが「僕は、環境委員会の委員長として学校の環境を守りたいと思っています。60本の木を植えてくださったことを聞いてとても驚きました。これからしっかり木の手入れをして大切にしていきます。」と挨拶してくれました。

新しい形の運動会で明るく、元気に！



【入退場の際の”密”の解消】

入・退場を門使用に限定せず、自席から直接自分の演技・競技場所に向かわせたり、終了後に直接自席に戻らせたりする等の工夫をします。移動する際には、少人数であることと移動するタイミングをずらすことを心がけます。

【演技の際に起こる”密”の解消】

1回の競技に参加する子どもたちの人数を減らしたり、身体的距離を確保したりするようにします。隊形変化による密状態の解消を工夫します。

【保護者観覧の際に起こる”密”の解消】

保護者テントを立てず、各自が自分自身で身体的距離を確保できるようにします。感染状況によっては、さらに観覧できる家族の数に制限をお願いし、お互いが目に見える形で身体的距離が確保できるようにしていきます。

【熱中症リスクにも配慮】

コロナ禍における運動会の在り方だけではなく、熱中症リスクの軽減についても配慮していきます。

- ・「熱中症警戒アラート」が発表されたり、暑さ指数（WBGT）が31を超えたりした場合は、活動を中止します。
- ・心身に不調を感じたら申し出て休むよう習慣付け、無理をさせないようにします。
- ・水分補給のための時間を設定します。
- ・「演技→テント内で涼む」サイクルを徹底します。 等

* 保護者の皆様も水分補給や帽子をかぶる等、各自でできる熱中症対策をお願いします。

保護者の皆様や地域の皆様のご理解をいただきながら、今後も「新しい形の運動会」を検討・実施していきたいと思っております。



新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、教育活動を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどお願いいたします。